

## パターンごとの単位あたりのエネルギー消費量

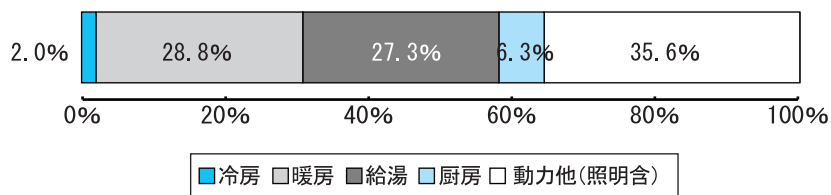
	住居面積あたり (kWh/m <sup>2</sup> )				人数あたり (kWh/人)			
	合計	電気	ガス	灯油	合計	電気	ガス	灯油
<b>戸建住宅</b>								
A. 一般戸建住宅(灯油未使用)	112.9	51.2	61.8	-	4,291.8	1,944.3	2,347.6	-
B. 一般戸建住宅(灯油使用)	182.1	50.7	52.6	78.8	5,282.4	1,606.7	1,181.2	2,494.5
C. 太陽熱集熱器設置住宅	160.2	46.2	51.1	56.1	4,980.1	1,715.4	1,896.0	2,082.8
D. オール電化戸建住宅			2				2	
E. 一部電化戸建住宅 1	104.9	55.2	12.3	37.4	5,697.5	2,997.9	668.6	2,031.0
<b>2集合住宅</b>								
A. 一般集合住宅(灯油未使用)	125.2	56.9	68.3	-	2,427.5	1,104.0	1,323.5	-
B. 一般集合住宅(灯油使用)	159.0	52.6	57.6	48.8	3,570.2	1,181.2	1,294.0	1,095.0
<b>3戸建住宅兼店舗</b>								
住宅+店舗			2				2	

※1: IHクッキング、深夜電力給湯器などを使用

※2: 完全な記入のあるサンプルが揃わず、通年のエネルギー消費量が把握できなかったもの

## (2) エネルギーの用途別消費割合

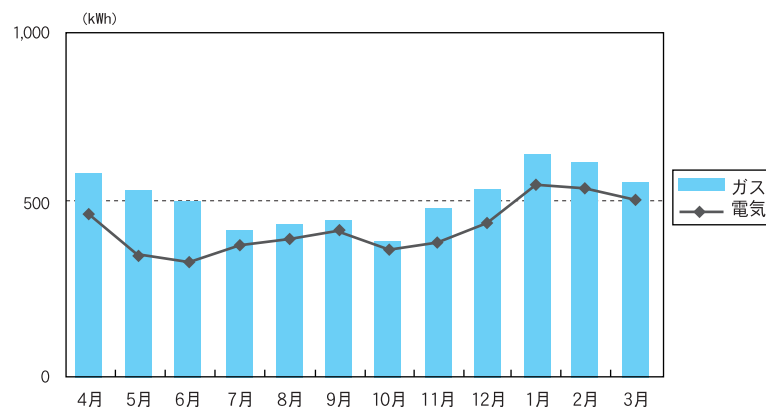
全国の平均的な住宅におけるエネルギーの用途別の消費割合※を見ると、全体の3分の1以上が「動力他（照明も含む）」となっている。これに28.8%で「暖房」、27.3%で「給湯」が続く、冷房は2.0%で最も少ない割合となっている。



## 家庭におけるエネルギー消費状況

※エネルギー・経済統計要覧2004（2002年度の状況）

下図は最も回答の多かった ①-A の「一般戸建住宅（灯油未使用）」タイプをもとに、このタイプの平均延床面積（99.2m<sup>2</sup>）を乗じて、年間のエネルギー消費量を推計したものである。このグラフを見てもわかるように冷房（エアコン）の消費に伴い増加すると考えられる夏季の「電気」の消費量は通年で見ると、さほど多くなっていないことがわかる。



## 「一般戸建住宅（灯油未使用）」タイプにおける月次のエネルギー消費推計量